



# 育成だより

第6号

平成元年3月31日  
貝塚中学区  
青少年育成委員会

椿森中学区と合同で、雄大な自然のなか寝食を共にし、地区の子ども達同士の友情を深め野外での集団生活を充分味わうことによって青少年の健全育成をはかるという主旨のもと、さく年

七月二七、二八日、五五名の子ども達の参加により高原千葉村で一泊二日のキャンプのつどいを行いました。

## 千葉村キャンプのつどい

### 「楽しく、有意義だった」

この場所は、キャンプ地としては大盛況の場所、楽しく思い出に残るキャンプをと意気込み、椿森中学区の相談員さんたちと十分打ち合わせをし計画したのですが、近年になく長雨が続き、キャンプは青空のもとで行うものとばかり思い込んでいたのに当日は大粒雨。それでも助かったのは、雨もどこかへ飛んで行

つってしまうのではないかと思える程の子ども達の明るさでした。そんなキャンプのなか、相談員と賑やかに食事を作る子、なが靴で雨の中をわざわざ水溜りを飛びまわる子、また雨天で外に出られず、体育館でのゲーム大会で大笑いする子、キャンプルサービスで敷布で神様の服装をする子、など、一人一人を見ておりますと、可愛らしくいじらしさを感じ、いつまでも健康で素直に成長してほしいと願わざにはおれない気持ちになりました。

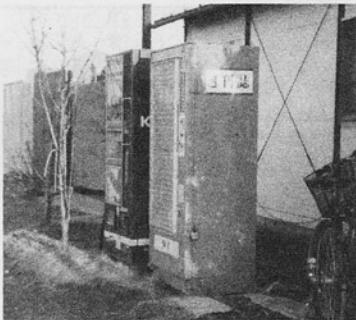
今回は椿森地区と合同ということで、企画も数多く用意したのですが、雨で大半が流れてしまい本当に残念に思いました。しかし大した事故もなく無事父兄のもとにお帰しできたことが、何にもまして嬉しいことでした。地域の方々のご協力に深く感謝申し上げます。

青少年相談員 戸村一美



# 売るな 見せるな 買わすな

## — 追放運動に本腰 —



写真は桜木地区に一部まだそのまま設置されている有害図書自販機

子どもの通学する道路ぎわに、むぞうさに設置された雑誌の自動販売機。子どものこづかいの範囲でも、青少年に有害なポルノ雑誌のたぐいが、簡単に手にはいります。こうした地域の実態をふまえて、貝塚中学区青少年育成委員会では、別行のような自粛要望書を、地区内の社会教育団体の連名連署によって、書店などの取扱販売関係先に強く自粛を要請するほか、関係機関に対しても、取締り体制の強化を要望するなど、悪書追放のた

めの運動を、地域ぐるみで展開してきました。自動販売機の撤去など、部分的に効果もあらわれはじめていますが、まだまだ多くの課題も残されています。これからも気をゆることなく、学校と地域とPTA



日頃は、地域

の皆様には、青  
少年健全育成に

特設の御協力をいただき心から感謝して居ります。

さて、当育成委員会は、六十

三年夏の一大目標として、有害図書の追放を決議し昨年から各種団体と協力をいたしまして頑張って居ります。

いよいよ実行の効果が現われ各販売店を始め、自動販売機の撤去等が進み、明るい子ども達の社会作りが出来つつあります。

## 非行防止は大人の責任

育成委員会会長 田中信夫

が一丸となつて運動を継続展開する方針でのぞんでおります。

写真左は悪書追放運動の一環として地区内要所に設置された看板

### 有害図書類の販売

#### 自粛要請について

日頃は、地域の文化向上のためのご尽力をいただき、ありがとうございます。



さて、このたび、千葉県青少年総合対策本部よりの通知で、「夏の青少年を健全に育てる運動」が実施されることになりました。その運動の一環として、貝塚中学区青少年育成委員会でも、青少年の健全育成を阻害するおそれのある有害図書類の追放のために、現在地域を巡回して点検活動を展開しているところです。

つきましては、貴店に、青少年に有害と思われる図書類が置かれている場合には、今回の運動の趣旨をご理解のうえ、早急に店頭から撤去し販売を自粛してくださるようお願い申し上げます。

青少年非行防止こそ、私共大人の役割と責任であり、明るい社会作りを心から念願して居ります。



## 健全育成部会

## 63年 活動報告

今年も盆踊り大会は、各地区で盛大に開催され、北貝塚小地区では、都賀中央公園他四会場・八日間で住民約四千人が参加。

桜木小地区では、九会場十八日間実施された。

部員は、育成委員の腕章を付け盆踊り会場と、その周辺を巡回し「愛のひと声運動」を積極的に展開し、補導員延三十一名が、点検補導活動を実施した。

非行補導等対象事案発生がなかつたことは、大きな成果であった。

六十年に第一回点検補導活動を実施してから四回を数え、この活動も一応定着し、住民の関心も高く注目されている。

(御園生 章)

環境対策部会  
桜木・都賀両地区の環境対策委員は、夏休み・冬休みに学区内の環境点検を行ないました。



写真はふれあいグランド・ゴルフ大会

一、スーパー・一般書店の不良雑誌の販売については、各地に、「売るな 買わな、見せるな、悪書」のステッカーを貼っていた

だいたおかげで、店頭にはなくなつた様子です。

二、有害図書自動販売機は、夏休み時と同様今も変りなく、各所に設置されていました。自動販売機が撤去されるまで、対策を考え、点検活動を継続したいと思います。

(閑谷 亮介)

## 非行対策部会

夏休みと冬休みに、都賀・桜木地区に分れて、パトロールを実施、何軒かのゲームセンターの責任者に事情説明をもとめたところ、熱

心な活動の成果がうかがわれ、「子供達には時間を見て注意している」との回答を得ている。

一方有害図書類のチェックの件では、書店に子供むけのかなり刺激的なアニメ・マンガ等が多数みつけられ、店主に悪書追放の目的を充分に説明、協力方を強く要請した。さらに食料品店、スーパーなどにも、これ等に類するものが置かれているので同様協力方を併せて申し入れた。今後引き続き積極的に活動を展開していく方針。

(伊藤 和夫)

## 不法行為・シヨン部会

年度行事として、八月に「ふれあいグランド・ゴルフ大会」三月に、バスでの「一泊研修旅行」を計画し、予定どおり八月二十一日には貝塚中の校庭において、晴天下、三十余名の参加者のもと、暑さも忘れての、とても楽しいグランドゴルフ大会を実施しました。

また三月二十五・六日の両日、二十余名の参加者のもと、跳子方面への一泊研修旅行をも実施しました。

した。

(高橋 房枝)

## 交通安全対策部会

千葉東警察署・千葉東交通安全協会の協力で「通学路の点検」と「特別講習」を実施した。

講習内容は、法律の改正部分の説明・交通環境の変化に対応したドライバーの心得・映画による最近の交通事故の特徴等であった。

当学区は国道51号線千葉・四街道線等の内陸部と都心を結ぶ幹線道路が走り朝夕の通過交通の激しい地域であり交通事故の多発的要因を含んだ地域。ドライバーは交通ルールを完全に守り心にゆとりを持って安全運転を心がけようとの事だった。

(榛沢 芳雄)

## 福祉部会

一、八月 夏休み中の対策

盆踊り期間中、夜七時より九時頃迄(特に小・中学生に注意する旨、連絡し)監視。異常なし。

二、十二月 冬休み中の対策

多忙月、老年者の見舞、一人暮しの方、母子・父子家庭等の様子を見乍ら貝塚中の家庭、町内民生員にお願いし「一声運動」を展開しました。

(原島 福二郎)

## 貝塚中学校区青少年育成委員名簿

亮	木町348-52
介	木町344
寒	木町425-17
実	木町544-3
一	木町1004-12
二	木町362-1
郎	木町284-66
大	木町358-49
雄	木町339-13
安	貝塚町1327-208
太	木町118-29
雄	都賀4-11-5
雄	都賀5-35-8
治	都賀5-4-12
雄	都賀5-6-2
愛	都賀2-31-25
迪	都賀2-1-9
夫	都賀4-13-3
三	都賀3-4-11
治	原町836-1
章	高品町31-5
保	貝塚町1297-1
郎	貝塚町1214-16
雄	都賀4-10
雄	桜木町343
誠	都賀1-10-14
郎	桜木町279
二	木町471-52
新	西都賀3-24-2
啓	木町353
愛	都賀4-5-8
和	木町626-3
秀	木町518
敬	都賀2-22-1
清	木町279-16
子	都賀1-8-10
房	貝塚町995
和	都賀3-11-4
枝	木町11-4
子	木町11-4
枝	木町11-4
夫	木町11-4
美	木町11-4

戸村	直人	都賀3-14-11
木内	重子	西都賀2-6-3
岡野	美子	西都賀2-28-14
後田	恵美	桜木町328
中田	彦子	貝塚町1327-27
成田	幹	桜木町218-21
小川	桂	桜木町561-22
鶴林	恒	桜木町277-6
林	義	桜木町484
鶴林	男	都賀4-15-8
竹	男	原町162
照志	正	桜木町225-18
御石	勝	桜木町339-21
中三	十郎	桜木町145-4
田	和子	西都賀3-23-7
佐平	雄	西都賀1-9-3
吉傳	泰明	都賀4-10-8
森仲	枝子	貝塚町1093
太矢	彦彦	貝塚町1093
加藤	郁	貝塚町1093
田中	武	桜木町220
大内	一	桜木町220
内山	幸	貝塚町1340-1
谷神	真	貝塚町1340-1
谷	一	桜木町300-11
谷	紘	桜木町458-20
谷	純	都賀4-13-5
谷	信	西都賀5-2-14
谷	光	桜木町340
谷	研	都賀2-23-3
谷	伸	都賀2-23-3
谷	英	都賀2-23-3
谷	昭	都賀2-23-3
谷	洋	都賀2-23-3
谷	子	都賀2-23-3
倉	英	都賀2-23-3
倉	昭	都賀2-23-3
倉	洋	都賀2-23-3

信夫義信一高保実

## 專門部所屬一覽

貝塚中学校 青少年育成委員会

◎部長 ◎副部長

### 【レクリエーション部会】

枝人子彦敏美男男正士子枝  
房直恵幹和理恒義唯勝和安  
美  
橋村野後田林嶋田  
下賀村

〔庄報部全〕

岸工田三  
務部会】  
田山高田吉森仲士  
中本柳中原  
本藤中宅

## 【交通安全対策部会】

○○ 梁榛福佐 濑沢井野

【福社部今】

○ 原 豊 野 河

### 【健全育成部会】

太郎男安迪治章郎明  
柳年孝令作 伝泰信研  
沢井原橋生井井倉中  
園ノ  
堀関松藤石御照石矢田

## 【環境対策部会】

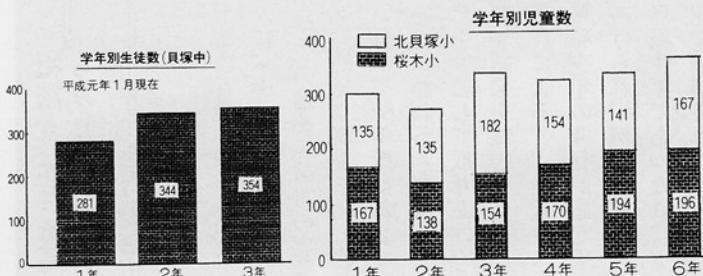
○ 介実美二篤太雄治雄愛三保郎昭  
亮 祥正專宣康紀 山高三英  
谷村嶋坂山藤浦口泉辺村橋田山  
関中永石杉加三石今渡戸石岩内

親睦がふかまつた

# リクリエーション部 バス一泊研修旅行

晴天に恵まれた、さる三月二十  
五日(土)、二十六日(日)、二十余  
名の参加者のもと、銚子方面へ  
一泊研修旅行を行いました。一日  
目は、出発が午後一時でしたので  
鹿島神宮参拝後銚子入りしました

夜は、懷石料理ではじまり、カラオケ、踊りと時のたつのも忘れて春の宵を楽しみ、皆さんは、より一層の親睦を深められたようです。翌朝は、太平洋の荒波の間から朝日で目覚め、気分爽快のうちに二日目のスケジュールである銚子魚市場、香取神宮、成田山(昼食)とまわり、別れを惜しみながら帰路につき、全員無事に貝塚中に到着しました。



# 中学生の問題行動と責任

最近の中学校では、一部の生徒の問題行動が、親や教師を悩ませ

教育の場である学校生活の中で服装、髪型、授業妨害などがあります。そのような子どもたちに、よく話を聞くと、学業不振、家族関係などが原因のように思われることが多いのに驚きます。

個々の生徒には理解を示し、同

情すべき点は多くあります。  
しかし、反社会的行爲に対しても  
は、中学生として善惡の判断ができる  
指導が大切だと思います。  
一個の人間として尊重されるた  
めには、責任をとる意味を、くり  
返し、社会、家庭、学校は指導す  
ることの重要さを痛感しています。

活動を学級、全校と評価する体制をしき、自分たちの生活は自分たちで改善する取り組みをはじめています。また、夏休みや冬休みには、学級や個人で勉強会が組織され、教室や職員室、宿直室等で勉強する生徒たちの姿が見られ、何人かは三学期も続き、学校の雰囲気も変つきました。

具擇 ケンカや万引きは減少

日本の歴史の節目に立ち会えた生徒たちは多少殊勝な気持ちになつたのか、比較的落ち着いた生活を送つております。以前多かつたケンカや万引は、ほんとに少なくなりましたが、授業に入れない生徒が若干いたり、校には、地域の先輩からおりた力等で苦労させられました。



写真は研修旅行参加者の一例

今回のレクリエーション企画の研修旅行に参加して下さった二十余名の方々、本当にご協力ありがとうございました。

次回には、より多くの方々の参加を役員一同お待ちしておりますので、是非ご協力をお願いいたしま

## 相談からみた無職少年の実態

### 青少年補導センターの調査報告

千葉市青少年補導センターは、過去に「小・中高生の意識調査」「中学生の迷惑・被害の実態調査」等々、活発な調査活動と取り組んでいるが、62年度はあえてむずかしいと云われる「無職少年の指導」をテーマとして取りあげ、その実態調査結果を報告した。

それによると、最近マスコミ等で無職少年の非行問題が大きくとりあげられ、例えば暴走族の大半が無職少年であつたり、シンナーが吸引で補導された少年のほとんどが無職であるなど、一例ではあるうが、社会への悪影響が甚大であることが報じられているが、それを裏付けた結果となつた。

警察庁のまとめによると、全国における刑法犯で補導された少年のうち、無職少年の占める割合は昭和60年度十二・三%、61年十二・八%、62年十三・一%と確実にふえている。

千葉市警察四署の少年補導状況



千葉県薬物乱用対策推進本部

のうち、無職少年の占める割合は昭和60年三三・三%、62年度三五・〇%と年々増加傾向が伺える。さらに無職少年女子の占める割合については、昭和62年度で三八・三%でかなり高率である。

補導センターに寄せられる相談

のうち、無職少年に関するものは時間的にも労力的にも大きな比重

を占め、内容的には無職少年がグループを組んで、後輩中学生に悪

千葉市青少年補導センターでは、62年度重

点施策の中に、無職少年の相談指導を新たに加え、無職少年対策委員会を設置し、組織的かつ計画

的に実践すること

を確認した。

無職少年対策委員会で決定された目標はつきのとおり

三、

地域の健全育成に協力する（学校等と連携をとつて行ない、単に相談のみでなく、少年の進路を見届ける段階を目指す）

四、進路相談を通して無職少年の気持ちを理解し、以後の指導の相談指導で、これらが期待できる。

一、無職少年を人数的に把握する。  
二、就職又は進学を含めた進路指導を握する。

以上の目標を掲げ、とくに一の調査に力点をおき、まず実態を割りだすことを第一と考へた。

影響を与えるケースが多く、その主なるものは①シンナー仲間として誘う②カンパをまわして元締となる。③暴走族への加入を勧めるなどで、多くの場合これらのが行為が重複してなされており、かなり根深いものとなつていて

る。

千葉市内警察四署別無職少年補導状況

署別	年度	(人) 全少年数 (A)	(人) 無職少年		割合 (B) (A)
			無職少年数(B)	増減 (62年-64年)	
中央	62	7,305	2,578	526	35.3
	61	6,325	2,052	—	32.4
南北	62	2,268	809	△ 113	39.6
	61	2,808	1,012	—	36.0
西	62	4,050	1,309	△ 47	32.3
	61	4,151	1,356	—	32.7
東	62	3,726	1,292	1,292	34.7
	—	—	—	—	—
計	62	(1,829)	(728)	1,658	(39.8)
	61	17,349	6,078	—	35.0
		(1,543)	(651)	—	(42.2)
		13,284	4,420	—	33.3

注：東署。昭和62年度開設、( )内は女子数